

## 令和6年度 横浜修悠館高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	○職員啓発資料等をもとに職場研修を実施し、教育公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上、法令順守等について徹底した。 ○職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にした職場環境づくりを進めた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	他者の人権を尊重し、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントを防止する。	○職員啓発資料等を参考にし、ハラスメントに関する理解を深めるとともに、人権意識の向上を図った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する。	○生徒の人権についての意識啓発を行うとともに、ささいな問題でも指摘し合える職場環境づくりを進めた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	○様々な特性を持つ本校生徒への、人権に配慮した適切な対応を組織として取り組んだ。 ○生徒理解に基づく指導を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	取組みの重点目標を「入学者選抜・成績処理業務の適切な処理」とし、実効性のある点検体制を再構築し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う。	○職員全員で点検体制や業務マニュアルを再確認し、入選業務に関する職員の共通理解を徹底した。 ○過去の事故事案について、職員に周知し、事故の未然防止に努めた。 ○保存すべき文書の保管場所・保管期間について周知徹底し、適切に行った。 ○気にかかるなどをそのままにせず、「報告・連絡・相談」を適切に行なった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流失を未然に防止する。	○情報セキュリティの点検を実施し、職員の意識の向上を図った。 ○個人情報の学校外持ち出しの際「個人情報校外持ち出し許可願」の提出とその後の直帰を厳守した。また、パスワードの設定等の漏洩防止対策の徹底を図った。
会計事務等の適正執行	公費は神奈川県財務規則、私費は私費会計基準に則った適正な会計事務を行う。	○公費・私費の適正管理に努め、相互チェック体制を徹底した。 ○私費会計基準に基づいた適正な会計処理を行った。

### ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止は、ややもすると職員の当事者意識が希薄になる傾向が見られる。そのため、過去の事例等を教訓とし、事故を未然に防ぐという決意で取り組んできた。

- 打合せ掲示板等で、不祥事防止に関する通知や資料の掲載及び全体の周知により、意識啓発を行った。
- 不祥事防止研修会は、グループごとに担当者が発表を行い、当事者意識を涵養した。
- 不祥事防止は、繰り返し指導することが不可欠である。今後も粘り強く取り組んでいきたい。